

仙台市地震防災アドバイザー室へようこそ!



いつもご覧いただきありがとうございます。
今回の更新で連載も4回目となりました。

■ ケガ人が出たら?ケガしたら大丈夫?

平成16年5月31日掲載

明日と言わず、地震対策は今日(京)から!

本日のテーマは「ケガ人が出たら?ケガしたら大丈夫?」……。



市政出前講座(H15.11.7 実施)
北八中部さつき会の皆さん

あつ!! 地震! 『身の安全を第一に』

地震が起きたとき怖いのは?……そのひとつがケガです。

あなたにも、思わぬ事故でケガをしたことや、周囲の人がケガをする場面に出くわしたことがあるでしょう。出血や耐えられない痛みで気が動転した覚えはありませんか?もし、それが地震の時だったらどうなるのでしょうか。

大きな地震が起きてあなたや家族がケガをしてしまったとしたら、まず思いつくのは病院に行かなければということ。ところが、次にはこんな大変な場面が待っているかもしれません。

何が大変なのでしょう?

やっとの思いでたどりついた病院では、同じようにケガをした方がいっぱいあふれているでしょう。また、もしかしたら病院の建物が崩れてしまっているかもしれません。こうした場合には、大ケガをしてもすぐには医者には診てもらえないことが考えられます。それまでにケガを悪化させないよう、応急措置はあなたの判断で行わなくてはなりません。



そんな時あなたは大丈夫ですか？

割れたガラスの破片で手や足を切ってしまった時、倒れてきた家具で腕や足を骨折した時の応急処置は出来ますか？

災害から身を守るには、常日頃からの心がけが大事なのです。

仙台市消防局では、その助けとなる応急手当の講習会を行なっています。まだ受けたことのない方は、是非受けてみて下さい。自分のため、特にあなたの愛する家族のためです。

町内会単位などで是非、申し込みされてはいかがでしょうか？